

特別企画

イタリア映画祭2001

イタリア旅行

福岡市総合図書館映像ホール
Fukuoka City Public Library Movie Hall

シネラ
Ciné-là

シネラ・ニュース
July.2001 No.60



イラスト:山下良平

特別企画

カナダ映画祭2001

7



21日(土)15:00 26日(木)19:00

2秒

2 Secondes



日本語字幕付き

カナダ映画祭2001

CANADIAN FILM FESTIVAL 2001 / FESTIVAL DU FILM CANADIEN 2001

主 催：福岡市総合図書館、カナダ映画祭2001実行委員会、Canada カナダ大使館、
Québec ケベック州政府在日事務所、在福岡カナダ領事館

助 成：国際交流基金

後 援：カナダ外務・国際貿易省、カナダ国立映画制作庁、朝日新聞社、テレフィルム・カナダ

協 力：(株)ギヤガ・コミュニケーションズ、Alliance Atlantis、Burns Films、Cinema Vault、
Conquering Lion、Cowboy Booking、Igloolik Isuma、Cinema Libre

企画制作：びあ(株)、オペラナイト、Zuno Films

1998年/35ミリ/カラー

103分/カナダ(フランス語)

監督:マノン・ブリアン

出演:シャルロット・ローリー

マウンテンバイクのレーサー・ローリーはレースで惨敗し、引退する。スピードの世界が忘れない彼女は自転車便の仕事に就く。しかし自転車便の仲間は個性派揃いでなかなかうち解けられない。さわやかで、心温まる自己回復のドラマであり、98年モントリオール映画祭で、観客選出の最優秀カナダ映画賞を受賞している。

21日(土)11:00 25日(水)14:00 29日(日)11:00

アニメ&短編特集

「ある一日のはじまり」

1999年/10分 監督:ウインター・ティルビー、アマンダ・フォービズ

「王様のシャツにアイロンをかけたのは私の祖母」

1999年/11分 監督:トリル・コープ

「愚か者の村」

1999年/13分

監督:ユージン・フェドレンコ、ローズ・ニューラブ

「ボディ・リズム」

2000年/6分 監督:ウェイン・トウラウト

「帽子」

1999年/6分 監督:ミシェル・クルノワイエ

「二人でお食事」

監督:Janet Perlman

「巣穴戦争」

1997年/7分/監督:ルイーズ・ジョンソン

「ガイ・マディンの Heart of the World」

2000年/6分 監督:ガイ・マディン

「クローネンバーグの Camera」

2000年/6分 監督:デビッド・クローネンバーグ

2000年広島国際アニメーション映画祭グランプリを獲得した「ある一日のはじまり」を始めとするカナダの傑作アニメーションと、ガイ・マディンとクローネンバーグという二人の人気監督による短編を上映。

※日本語字幕なし。解説を配布します。



「ある一日のはじまり」

「王様のシャツに…」



「Camera」

「Heart of the World」

22日(日)11:00 27日(金)14:00

2000・限りある日々

Two Thousand and None

日本語字幕付き

1999年/35ミリ/カラー/94分/カナダ(英語)

監督:アルト・バラガミアン 出演:ジョン・タトウロ

古生物学者ベンジャミンは妻との離婚後、医者から脳に不治の病を抱えており、余命5週間と宣告される。同僚達の心配をよそにベンジャミンはかつてないエネルギーで行動を開始する。悲劇がおおらかにテンポよく語られており、生きることの感動を伝える作品となっている。

27日(金)19:00 29日(日)15:00

セット・ミー・フリー

Set Me Free

日本語字幕付き

1999年/35ミリ/カラー/94分/カナダ=フランス(フランス語)

監督:レア・ブルー 出演:カリーヌ・ヴァナツ

60年代のカナダ。13才の少女・ハンナの父親はユダヤ系移民で、売れない詩人。母親が縫製工場で働き一家の暮らしを支えている。多感な年頃のハンナの自分探しの物語で、少女の心の葛藤と成長を綴った感動作である。

19日(木)14:00 28日(土)15:00

オシュラガ

Hochelaga

2000年/35ミリ/カラー

127分/カナダ(フランス語)

監督:ミシェル・ジユテ

出演:ドミニク・ダーシュ



日本語字幕付き

モントリオール北東部にあるオシュラガ地区、ここでは二つの暴走グループが繩張り争いを繰り広げていた。主人公のマルクは彼らにスカウトされ、次第に暴力の世界にはまっていく。公開と同時に予想を上回るヒットとなり、「MAELSTRÖM～渦～」と並び高く評価された作品。

19日(木)19:00 22日(日)15:00

ニューウォーターフォードの少女

New Waterford Girl

1999年/35ミリ/カラー

95分/カナダ(英語)

監督:アラン・モイル

出演:リアーン・バラバン



日本語字幕付き

70年代半ば、カナダ東部の町ニューウォーターフォード。ニューヨークに行く夢を持つ15才の少女ムーニーの隣に、ニューヨークから同じ年の少女ルーが引っ越してくる。そしてルーは町の少女達のヒーローとなっていく。閉鎖的な田舎町で暮らす少女達の切ない青春を70年代ポップスと共に描いた作品。

20日(金)11:00 25日(水)19:00

ラブ・カム・ダウン

Love Come Down

2000年/35ミリ/カラー

99分/カナダ(英語)

監督:クレメント・バーゴ

出演:ラレンツ・テイト



日本語字幕付き

トロントにすむネヴィルは麻薬に溺れた過去があるが、コメディアンになるという夢があった。彼の兄のマシューはボクサーで、母は父親を殺した罪で刑務所に収監されていた。ジャマイカ出身のクレメント・バーゴ監督の個人的な思いが込められた作品で、人種、移民、麻薬等様々な問題がモザイクのように浮かび上がる。

20日(金)15:00 26日(木)14:00

ポシブル・ワールズ

Possible Worlds

2000年/35ミリ/カラー

94分/カナダ(英語)

監督:ロベール・ルパージュ

出演:トム・マッカムス



日本語字幕付き

頭部から脳が抜き取られた死体が発見される。ベテランのバークリー刑事と若手のウイリアムズ刑事が調査にあたるが、事件は混迷するばかりだった。イメージーション溢れる映像、殺人事件と平行して語られる被害者バーバーと謎の女性ジョイスの関係など、スタイリッシュに描かれるキュビズム的ラブストーリー。

日本の映画雑誌の黎明期

画の大事な資料の一つに映画雑誌があります。日本に映画が渡来した1897(明治30)年、「活動写真月報」という業界紙が発行されたそうです。当時は映画館や配給制などもなく、輸入業者などからフィルムを買い取った人たちや映画業者自身が巡回隊を組織し、各地の芝居小屋などをを利用して上映していました。この頃の業界紙はこうしたフィルムや機材の情報などを中心に掲載していたのだろうと思われます。当時は雑誌そのものが珍しく、映画も科学の進歩を示す見せ物としての意味合いが強かった時代でした。

いわゆる一般向けの映画雑誌は、大正時代に入ってから、次々と登場します。1903(明治36)年に日本で初めての映画館が誕生し、1916(大正5)年頃には全国で300館にもなっています。思想、科学、文化が発展し大正デモクラシーが花開いた時期もあり、日清、日露戦争での戦勝や第一次大戦での好景気を背景に、映画もまた新時代の大衆文化として発展していった時代でした。この頃、創刊し、現在も続く唯一の映画雑誌に「キネマ旬報」があります。1919(大正8)年創刊号は、わずか4ページ、当初は雑誌というより、月三回発行の映画新聞でした。日本で最も早い時期の映画専門雑誌としては1915(大正4)年創刊の「活動写真雑誌」や1916(大正5)年創刊の「活動之世界」などがあります。「活動写真雑誌」は当時の活弁付き映画を読み物に直したものを中心にはじめました。一方「活動之世界」は当初、男性向けの社会雑誌で、題名の「活動」は『活発な活動』などの「活動」でした。ただし創刊号

から別録として活動写真の記事が全体の四割近い量で掲載されており、第二号ではそれが六割となり、第三号からはついに表紙に「活動写真専門雑誌」と銘打つようになります。この雑誌は「活動写真雑誌」に比べ、批評や映画論、内外の映画界の事情に関する記事などを



キネマ旬報・復刻版

発行者:新田満夫
発行所:(株)雄松堂出版

網羅していく、現在の映画雑誌の原型といえるでしょう。このほか、グラビア写真と映画のノベライズに力を入れていた「活動画報」(1917年創刊)などがあり、映画ジャーナリズムはこうした雑誌を中心に、発展していきます。

これらの雑誌が相次いで創刊した頃は、連続活劇や連鎖劇など現在の映画のスタイルにいたる過渡期的な作品が人気を博していました。連続活劇とは続き物で、TVの連続ドラマのようなものです。また連鎖劇というのは、芝居の一部が映画になっているというものです。この時代の映画、特に日本映画のフィルムはそのほとんどがなくなってしまい、また当時の映画の人気は活動弁士に支えられていた面も多分にありました。この頃の雑誌に掲載されていた映画のノベライズは、実際に映画館に足を運んで、弁士の説明を上映中に記録したものもとに書かれており、当時の活弁がいかなるものだったかを窺い知る数少ない資料の一つです。そして、なにより当時、映画が社会の中でどういうとらえられ方をしていたかを知ることが出来ますし、当時の映画ファンや映画関係者が映画をいかに見ていたかを知ることが出来ます。

日本の好景気とともに相次いで創刊し、発展してきた映画雑誌ですが、第一次大戦の終結に伴う不景気や関東大震災などによって多くの雑誌が廃刊、あるいは自然消滅していきました。

映像調査員 山本宰

お知らせ

各団体の自主上映

●7月1日(日)14:00

「芙蓉鎮(ふようちん)」(監督:謝晋(シェ・チン))
観覧料/前売:1,200円
当日:1,400円
中高生・シニア(当日のみ):1,000円
主催/福岡映画サークル協議会
(Tel. 092-781-2817)

*自主上映の詳細については、直接主催者にお問い合わせ下さい。

ビデオ編集技術研修室のご案内

ビデオ研修室では、家庭で撮影されたビデオ(Hi8)や各行事の記録ビデオの編集などに利用できます。(使用料1時間500円、連続使用3時間迄、デジタルビデオの編集は不可)

*詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで

新収蔵品展開催中止のお知らせ

先月号で6月29日から8月30日までの開催をお知らせ致しました、第5回文書資料新収蔵品展「郷土福岡の歴史」は、都合により中止となりました。深くお詫びし、訂正させていただきます。

福岡市総合図書館文書資料課古文書係

シネラNEWS送付のご案内

定期購読ご希望の方に毎月シネラNEWSをお届けしております。購読を希望される方は、平成13年8月号~平成14年3月号までの郵便切手(90円×8カ月)を同封の上、下記宛先へお申し込みください。

宛先:〒814-0001福岡市早良区百道浜3-7-1
福岡市総合図書館 映像資料課

7月

1日	自主上映「芙蓉鎮(ふようちん)」	
2月	休館日	
3火	休映日	
4水	14:00 笑う男	19:00 目をつむって
5木	14:00 乳母	19:00 ほくらの世代
6金	14:00 アクロバットの女たち	19:00 戦争のリハーサル
7土	11:00 目をつむって	15:00 ほくらの世代
8日	11:00 笑う男	15:00 乳母
9月	休館日	
10火	休館日	
11水	14:00 戦争のリハーサル	19:00 ラジオフレッチャ
12木	14:00 聖アントニオと盗人たち	19:00 死ぬほどターノ
13金	14:00 血の記憶	19:00 アクロバットの女たち
14土	11:00 ラジオフレッチャ	15:00 聖アントニオと盗人たち
15日	11:00 死ぬほどターノ	15:00 血の記憶
16月	休館日	
17火	休映日	
18水	14:00 MAELSTRÖM~渦~	19:00 ウエイ・ダウン・タウン
19木	14:00 オシュラガ	19:00 ニューウォーターフォードの少女
20金祝	11:00 ラブ・カム・ダウン	15:00 ポシブル・ワールズ
21土	11:00 アニメ&短編特集	2秒
22日	11:00 2000・限りある日々	15:00 ニューウォーターフォードの少女
23月	休館日	
24火	休映日	
25水	14:00 アニメ&短編特集	19:00 ラブ・カム・ダウン
26木	14:00 ポシブル・ワールズ	2秒
27金	14:00 2000・限りある日々	19:00 セット・ミー・フリー
28土	11:00 ウエイ・ダウン・タウン	15:00 オシュラガ
29日	11:00 アニメ&短編特集	15:00 セット・ミー・フリー
30月	休館日	
31火	月末休館日	



交通アクセス: 当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄: 西新駅または藤崎駅から徒歩15分
西鉄バス: 天神→都市高速経由→福岡タワー南口
(所要時間 昼間で約20分)

博多駅→都市高速経由→福岡タワー南口
(所要時間 昼間で約25分)

福岡タワー南口バス停から徒歩3分
いずれも、昼間は10~15分間隔で運行されていますので大変便利です。
お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください。(H.M.)

編集雑記 日本からはちょっと遠い国「イタリア」と「カナダ」。遠いと言つても地理的な問題だけで、各々の国を旅した楽しい思い出をお持ちの方も多いです。日常生活でも、イタリア製の服を着て、カナダの建材で建てられたレストランで、カナダ産のエビを食材としたイタリア料理を味わうことなど、そんな風に様々な場面で私たちの生活とも結びつきの深い国の映像文化の魅力を貴方に…さて、どのメニューからいきましょうか? (H.M.)

古紙配合率80%再生紙を
印刷/株)ドミクスコーポレーション

280 使用しています。

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表)092(852)0600 映像資料課092(852)0608 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館ホームページアドレス <http://toshokan.city.fukuoka.jp/>

デザインワークス/VOW OFFICE co.,ltd.